

## 2014年 大韓土木学会(KSCE)年次大会参加報告

本年、10月22日から24日、大韓土木学会（以下KSCE）の大邱での全国大会へ磯部雅彦会長、勝地弘横浜国立大学教授、山川朝生(日本工営)交流Gリーダー、大嶋匡博関東支部長、影山雄関東支部広報担当、国際センター菊地崇職員の7名で参加しました。訪韓当日の22日は、日本大使館のご協力により、在韓の日本人技術者と昼食会を兼ねた懇談会を行い、韓国の建設業等の実情について意見交換を行いました。韓国内の経済状況もあり、大手建設会社等は海外への進出を加速させているとのことでした。興味深いのは、韓国政府が海外プロジェクトの受注に対して国をあげて行っていることです。



土木学会 国際センター  
韓国 Gr.リーダー  
江上 和也



磯部会長の挨拶  
(ウェルカムレセプションにて)

夕刻、大邱に到着し、ウェルカムレセプションに参加しました。レセプションでは、冒頭に KSCE の Shim 会長が挨拶され、海外を代表して磯部会長が挨拶を行いました。

等を発表し、影山広報担当が支部の広報活動として「土木カフェ」等の発表を行い、韓国内の支部活動の参考になったものと思います。

23日は、午前中に年次大会参加の各国学会が出席したRTMが開催されました。テーマは長大橋の維持管理で、勝地教授が発表を行い、討議が行われました。午後、関東支部がKSCEの支部会議で支部活動の紹介を行いました。大嶋支部長が支部全体の活動内容



勝地教授の講演 (RTMにて)

24日は、海外ゲストのみテクニカルツアーが行われ、4大河川事業の一つである洛東江の堰と「The ARC」という資料館を見学しました。河川事業の資料館ですが、著名な建築家のデザインで観光としても利用されているようでした。また、堰は、新しい堰に改築され、洪水防御・用水・水力発電の多目的堰となっています。



最後に韓国分会の李東郁会長に案内され、大邱広域市のモノレールの操車場を視察しました。最初の編成車両は日立製作所製造で、ここでも日本人技術者がアドバイザーとして運行等を指導していました。あっという間の3日間でしたが、大変盛りだくさんな内容で学ぶことが多い訪韓でした。

洛東江の堰 (写真左)